

国立音楽大学同調会 平成27年度 代議員会 会議録

日 時：2015年8月1日（土）午後1時30分より3時まで

会 場：国立音楽大学6号館 101室（大講義室）

出席者：46名（議決権者の総数：52名、この内、委任状提出4名、欠席2名）

配付物：議事次第、平成26年度活動報告、会計報告及び監査報告書、平成27年度活動計画（案）及び予算書（案）、同調会規約（改正案）、同調会規約、出席者リスト。大学関係資料：大学案内2016、学生生活のあらまし、くにたちキャリアブック、演奏会スケジュール。

冒頭、司会の杉江知都子学長事務室室長より、配付資料が確認され、次に、本日の代議員会が成立要件を満たしていることが伝えられた後、議事次第に沿って進行した。はじめに、山下洋輔会長よりご挨拶をいただいた。内容は、参集への感謝と実のある審議を願うというもの。続いて、長尾達則理事長、武田忠善学長（両名とも同調会顧問）の挨拶が続いた。理事長は、企業という畑違いからの就任だが、学校経営に尽力したい。入学者減少の現況は、大学の素晴らしい環境や教員レベルの高さを思うと残念である。もっと世に広めたいと思う。大学が入学者を選ぶのではなく、受験生が大学を選ぶ厳しい時代なだけに、同調会の協力を期待したい。大学は、同調会と強固に新しい関係を築いていきたいとの内容であった。一方、学長は、40年前に卒業した自分も家族も同調会員である。くにたちの良さは、学生と教職員との一体感ではないかと思う。まさに音楽というアンサンブルの精神である。先代の学長たちの支えを基に、自ら演奏する学長として、来年90周年を迎えたい。日々の研鑽を怠ることなく、若い学生に背中を見せながら、同調会会員の皆さんと共に、母校の発展のために取り組んでいきたいという意志の表明で、話が結ばれた。

規約第7条4項により指名された議長：小谷幸久氏（幹事・鳥取県同調会会長）、副議長：中村聰氏（幹事・東京同調会会長）のもと、以下の内容が審議・報告された。

【審議事項】

1. 平成26年度活動報告 <神原雅之 幹事代表>

- ①会議報告：代議員会(2014/8/1)と幹事会(全4回)を開催した。(日程・議題：別添資料参照)
- ②同調会ニュース：通巻91号を『くにたち音信』と合併号として発行した。
- ③ホームカミングデイ：参加者198名を得た。山梨同調会の合唱や本学教員が出演した磯山先生プロデュースのコンサートや写真展、キャンパスツアー、懇親ティーパーティーの様子は、Webにも写真と報告を掲載している。企画と運営は、学内同調会。
- ④ホームページ：継続更新。新会長ご挨拶ほかホームカミングデイ、各会主催の演奏会情報等。
- ⑤代議員会運営分担金：45会×@25,000円を大学に納付した。会計報告にも明記している。
- ⑥大学と各同調会との共催事業：ミニコンサート&クリニック（5会）、進学ガイダンス13会場適宜協力し合った。

2. 平成26年度会計報告 <横瀬和雄 財務管財部部長・代議員>

別添資料参照。

3. 平成26年度 監査報告<藤森晴子 幹事>

平成27年6月23日に、貝瀬幹雄幹事と藤森晴子幹事が監査を行った。藤森幹事より、監査の結果、収支状況が正しいことが報告された。

以上、平成26年度の活動報告及び会計報告については、拍手で承認された。会場からは、以下の質問と意見があった。

[質問] 代議員会運営分担金は、大学への納付と報告されたが、収入の部は[代議員会運営分担金]で良いと思うが、支出の部が[代議員会運営費]とあるのに違和感がある。科目名は大学への納付金と表現すべきではないか。科目名をご検討頂きたい。

[回答] 大学は、運営分担金(25,000円)を各同調会(45会)から代理徴収し、代議員の交通費を全額支払い、その差額(約40万円)を負担している状況にある。この収支決算書では、経理上、大学の立替金と戻し入れの流れを示したもの。今後は、同調会の視点に立った科目名を検討する。

4. 平成27年度 活動計画案 <藤沢章彦 幹事代表>

- ①会議予定 代議員会(2015/8/1)と幹事会(役員会)
- ②同調会ニュース 通巻92号『くにたち音信』4月号と合併して発行
- ③ホームカミングデイ 11月1日(日)第5回を迎え開催。スペシャルコンサート出演者は、ソプラニスタの岡本知高さん、ピアノ河原忠之先生。合唱団しらべ(指揮:岸信介さん)例年好評のキャンパスツアー、くにたち写真展、懇親ティーパーティーを企画実施予定。主催:同調会、共催:大学、運営を本学の教職員による学内同調会が担う。
- ④同調会ホームページ 継続し各同調会が主催する演奏会情報などを更新する。
- ⑤代議員会運営分担金 例年どおりに徴収し、大学に納める形とする。
- ⑥大学と都道府県同調会の共催事業は、7月20日・21日大阪同調会、8月21日・22日福岡県同調会との協力で行う。(現時点:2か所)

5. 予算書案 <横瀬和雄 財務管財部部長・代議員>>

別添資料参照。ホームカミングデイ2015の収入は、大学より35万、参加費30万の計65万円で、支出の合計は90万円を予定している。差額の25万円は、次年度繰越金から支出することが承認された。なお、この予算は、本日の議題である改正以前の

以上、平成27年度の活動計画案及び予算書案については、拍手で承認された。

6. 同調会規約の改正について

幹事会を代表して、神原雅之幹事代表より、同調会規約の改正案が、スケジュールと共に示された。昨年、一昨年の代議員会で、改正の骨子は①規約の改正により各地域の同調会の活動が規制されることはない。②大学の教育活動と後輩の活躍を支援しながら、音楽文化の振興を期す有意義な会としたい。③入会金の徴収を再開し、会全体に関わる事業に使用する。と確認した後に、条項を読み上げながら改正案を審議した。

2年がかりで取り組んだ規約案は、満場の拍手で承認された。今後は、スケジュールに沿って、新4年生に向けた周知を開始し、事業計画や予算については、次年度の代議員会で諮られることになる。また、本日より施行される新規約に基づき、会計監査に、神宮寺淑子 山梨同調会会長、駒沢とみ子 学内同調会副会長の2名の方が選出された。

審議終了後、学内同調会副会長 駒沢とみ子先生より、学内同調会の活動について報告された。同会は、会員の会費で運営されており、学生の県人会活動の助成、ホームカミングデイの企画と運営が主な活動である。ホームカミングデイは今年で5回めとなり、参加申込みは270名で順調な伸びを示している。受験生減少の現状に、同調会への協力が期待されており、引き続き母校を支えていきたいと考えており、各会への引き続きの協力を願って報告は締めくくられた。

以上で、代議員会は終了した。

出席者：山下洋輔 新会長、藤沢章彦副会長、長尾達則理事長、武田忠善学長（顧問）、神原雅之（幹事・代議員） 藤森晴子（幹事） 小部晴枝（北海道同調会・代理） 木村博子（青森県同調会・代理） 池野 環（岩手県同調会・代理） 泉澤 薫（秋田同調会・代理） 門脇磨美子（宮城県同調会） 鈴木恵子（群馬県同調会） 小二田幸子（栃木県同調会・代理） 武田 順（茨城県同調会） 島 頼子（埼玉県同調会） 中村 聡（東京同調会・幹事） 福井博之（千葉県同調会） 若田部 誠（神奈川同調会） 神宮寺淑子（山梨同調会） 石本陽子（新潟県同調会） 三上秋子（富山同調会・代理） 堺 洋子（石川県同調会） 篠田 洋（福井県同調会） 小松規美子（長野県同調会） 山田 望（静岡県同調会） 橋本真弓（岐阜県同調会） 山内直美（愛知同調会） 鈴木就二（三重県同調会） 橋爪恵子（和歌山同調会・代理） 長谷場純一（兵庫県同調会） 清水和子（大阪同調会） 平松久司（京滋奈良同調会） 小谷幸久（鳥取県同調会） 三木厚子（島根同調会） 津上 崇（岡山県同調会） 小田孝則（広島県同調会） 中島俊泰（山口県同調会） 塩崎百合子（香川県同調会） 上原佐知子（徳島同調会） 長谷川公彦（愛媛同調会） 青木つくし（福岡県同調会） 吉原敏郎（佐賀県同調会） 馬場幸子（長崎県同調会） 草尾文隆（熊本県同調会） 佐藤三保（大分県同調会・代理） 成松和恵（宮崎同調会） 西澤明（鹿児島県同調会） 玉城哲也（沖縄県同調会） 駒沢とみ子（代議員・学内同調会会長） 岩森美里（代議員） 横瀬和雄（代議員・財務管財部長） 杉江知都子（代議員・学長事務室長） 登坂江美子（学長事務室課長） 内海あゆみ（事務局） 長野舞希（事務局専従アルバイト）